

ふるさと光の会だより

第19号
平成31年3月



市長が立会人となり、室積海岸で「まちぐるみ Wedding」が開催されました。
←結婚式の動画はコチラ!!

発行 ふるさと光の会事務局

連絡先 〒743-8501 光市中央六丁目1-1 光市企画調整課
TEL 0833-72-1407 FAX 0833-74-1041
E-mail kikaku@city.hikari.lg.jp

第12回総会を開催しました!!

平成30年7月14日(土)に、12回目の総会・交流会を開催しました。

このたびは、昨年7月の豪雨災害の影響で市川熙市長・木村信秀市議会議長(当時)など光市からのご来賓はやむなく欠席されることとなりましたが、会場には、ふるさと光市を愛してやまない会員の皆様やご来賓の皆様など、合計58名が参加されました。

総会では、冒頭、光市の小田康典政策企画部長から豪雨災害の被害状況や早期復旧に向けた市長の力強いメッセージをご紹介いただきました。その後、活動報告や役員改選、30年度の予算・取組みなどについて議事を行い、会員相互の交流を通じた会の活性化について改めて思いをひとつにしました。

交流会では、会場と光市をライブでつなぐ「ふるさと中継」や特産品販売は豪雨災害のため中止となりましたが、全員参加による「山口ゆめ花博チケット争奪ジャンケン大会」などで会員相互の交流を大いに深めました。



全員でジャンケン大会!!



ラストは「ふるさと」合唱

新役員からのご挨拶

このたび、ふるさと光の会の理事になりました久芳でございます。光井高畑生まれで、光井小、光井中、光高校を卒業し、大学進学のため上京し、はや四十五年の月日が経ちますが、私の原点であります光は、いつまでも心に生きています。昨年、十五年ぶりに光へ帰省し、久しぶりに象鼻ヶ岬や虹ヶ浜海岸、冠山総合公園に足を運び、初めて伊藤公資料館などを訪ね、改めて光は素晴らしいふるさととしみじみ感じてきました。このようなふるさとのご出身者が集う「ふるさと光の会」の発展のために、役員の一員として微力ではありますが頑張っておりますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

新・理事

久芳 くば
光夫 みつおさん



〔予告〕第13回総会・交流会について

次回の総会・交流会は平成31年7月7日(日)12時から、東京グランドホテルで開催する予定です。

皆様楽しんでもらえるような内容を企画しておりますので、スケジュールの確保をお願いします。

多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております!

ふるさと光ドローンプロジェクト

このたび、ふるさと光の会の会員有志により、『ふるさと光ドローンプロジェクト』が立ち上がりました。

このプロジェクトは、空から見る光市の美しい姿をドローン撮影技術を用いて、懐かしさを感じつつも、新しい発見や感動を覚えるような映像を制作するもので、撮影と編集は「ふるさと光の会」中村壮志事務局長が担当します。

プロジェクトに必要な資金は、クラウドファンディングで募集する予定となっており、光市にゆかりのある方々のお力を結集して、取り組みを進めていきたいと思えます。

このプロジェクトをきっかけに、もともと光市ファンの方が増えるように、有志メンバー一同、力を合わせて素晴らしい映像作品を製作していきたいと思っておりますので、皆さんのご支援の程何卒よろしくお願いいたします。



プロジェクトメンバーの皆さん

詳細はコチラ →



<https://www.hikari-drone.com>

光市と連携した移住相談会を開催

総会・交流会前日の平成30年7月13日(金)に、光市と連携した移住相談会『HIKARISM2018』を台東区で開催し、ふるさと光の会から役員・会員の計4名がスタッフとして参加しました。4名は、「トークショー」にも出演し、光市の魅力や暮らしぶりなどを参加者(20名)にPRしました。今後もさまざまなかたちでふるさと光市へのUターン・移住の促進を支援していきたいと思えます。



移住相談会に参加された皆さん

光市PR用名刺デザイン ぜひ活用を!!

光市の自慢やPR、まちの魅力の発信に役立つ名刺デザインが光市のホームページに掲載されています。これは、市の認知度を高めることを目的に光市が行った事業によるもので、「光」やさしさ「温かさ」をメインテーマに、広く光市をPRすることができる写真やイラスト、キャッチコピーなどを使用した名刺デザイン、64作品が揃っています。

お好きなデザインを選んで、お仕事でもプライベートでも自由にご活用いただき、『光市応援隊』の一員となつて、ふるさと光市を発信していきましょう!!!

《応募作品の一例》



詳しくは光市のHPをご覧ください。



【光市HPのURL】

<http://www.city.hikari.lg.jp/kouhou/prmeishidesign.html>

新光総合病院 5月に開院



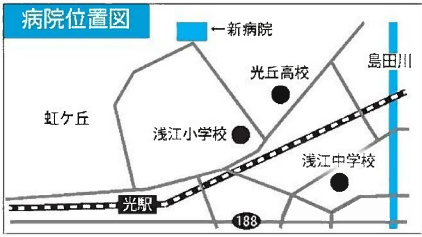
施設の老朽化などに伴い移転新築される新光総合病院が5月1日にいよいよ開院を迎えます。同日は、新元号が始まり、新たな時代が幕を開ける記念すべき日でもあります。医療機器や設備の充実はもちろんのこと、延床面積が現病院の1.6倍の広さとなり、3階以上からは海を眺望できるなど、これまで以上に患者さんやご家族に「やさしさ」や「癒し」を与えてくれる病院へと生まれ変わります。

なお、外来診療は10連休明けの5月7日(火)からとなります。



新光総合病院(写真右下)。3階以上からは海(写真奥)を眺望できます。

◇施設概要◇
 所在地 光ヶ丘
 (ひかりソフトパーク)
 敷地面積 約32,000㎡
 延床面積 約17,800㎡(病院棟)
 構造種別 鉄筋コンクリート造4階
 病床数 210床



光市ゆかりの本庶教授 ノーベル賞受賞

昨年12月にノーベル医学・生理学賞を受賞された京都大学特別教授の本庶佑さんが、山口県にゆかりがあることをご存知の方も多いと思いますが、実は、本庶さんの父・正一さん(故人)は、昭和51年から10年間、光市立病院の院長を務められており、光市と本庶さんにもご縁があるんです!! 市川市長は本庶さんを光市にお招きし、お父様ゆかりの新光総合病院の見学や講演会をしていただく夢を抱いておられるようですので、その夢が実現した際には、皆さんもふるさと光市に駆けつけてみてはいかがでしょうか。



本庶 佑 京都大学特別教授

光高校・光丘高校 再編統合の大枠示される

昨年6月に市内で説明会が開催され、光高校と光丘高校の再編統合の内容が示されました。県によると、新高校の設置場所は現在の光高校の校地とし、普通科と総合学科の2学科を設置することとして再編統合を進めるということです。また、新高校の生徒は、2020年4月入学者から募集し、2022年度には全ての学年が新高校の生徒になるそうです。皆様の中にも両校の卒業生の方が多いいらっしゃるかと思いますが、新しい高校が子どもたちや保護者の方々の期待に応えることができ、そして何より、ふるさとに根ざした学校になることを願いたいと思います。



光丘高校



光高校

～平成30年7月豪雨災害～

ふるさと光市 復旧への歩み 着実に

昨年7月の豪雨災害では、市内各地で浸水や山腹の崩落、土砂の流入などにより、甚大な被害が発生しました。発災直後から昼夜を通して応急復旧が行われる中、市内外から1,300人を超える災害ボランティアが駆けつけてくださるとともに、全国各地から義援金や寄附金なども数多く寄せられました。また、山口市や福島県福島市からは災害復旧活動のための職員の応援派遣を受けるなど、多方面からのご支援・ご協力をいただきながら、一日も早く“日常”を取り戻すため、光市の総力を結集した災害復旧が進められてきました。

◇被害状況（主なもの）◇

・総雨量	456mm
・時間雨量（最大）	43mm
・避難者（最大時）	532人
・住家被害	511戸



山腹崩壊の復旧工事の状況（浅江懸山）

災害から8ヶ月が経過し、幹線道路についてはおおむね通常どおりの通行が可能となり、公共交通機関についても山腹崩壊による運休で多くの方々の通勤・通学に支障をきたしていた鉄道をはじめ、各種バス路線でも通常運行を再開するなど、少しずつ“日常”の姿を取り戻しています。



市内各地で
復旧工事が
進行中です。



島田川護岸崩壊の復旧工事の状況（島田地区）

皆様におかれましては、ふるさと光市の復旧、そして復興に向けて、引き続き、温かいエールをお送りいただきますようお願いいたします。



ふるさと 応援寄附金

ふるさと納税で
『光市』を元気に!!

ふるさと光応援寄附金（光市へのふるさと納税）では豪雨災害に伴う緊急寄附受付フォームが開設され、これまでに全国各地から180件・総額350万円を超える寄附と応援メッセージが光市に寄せられました。

同フォームは3月で終了となりますが、通常のふるさと光応援寄附金は従来どおり受付中です。光市に移住したイチジク農家の手作りジャムや、今が旬のイチゴなど、寄附金額に応じてふるさと光市の特産品をお選びいただけます。

●問合せ

光市役所
広報・シティプロモーション推進室
TEL 0833-72-1409
FAX 0833-74-1041

Eメール kouhou@city.hikari.lg.jp

お申込はコチラ!

光市 ふるさとチョイス

検索

